



2024年10月16日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 大宮駅でエスカレーター安全利用促進の実証実験を行います

- JR東日本では、すべてのお客さまに安心してご利用いただける快適な駅づくりに取り組んでいます。
- このたび、大宮駅でエスカレーター安全利用促進の実証実験を行います。
- 具体的には、エスカレーター上の歩行や片側をあける慣習を控えていただくよう、AI技術を活用してエスカレーター上の歩行者を検知し、音声等で注意喚起を行います。また、ポスター等による啓蒙も行います。
- 実証実験の結果を、今後の取組み拡大に活用していきます。

### 1. 背景等

交通機関でのエスカレーター利用時の事故は多く、エスカレーター「歩かず立ち止まろう」キャンペーン等、安全なご利用方について、継続的な周知、ご案内を行ってきました。

一方で、エスカレーター上を歩行される方は一定数おり、エスカレーターの安全利用促進の観点から、今回、AI技術等を活用した実証実験を大宮駅で行います。

### 2. 実証実験の概要

#### <日時>

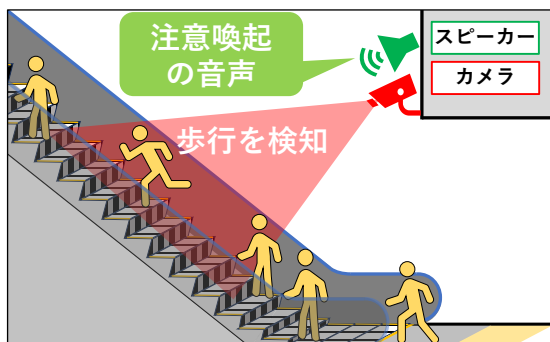
2024年10月28日(月) ~12月4日(水)

#### <場所>

大宮駅 埼京・川越線 21番線・22番線ホーム上、北側エスカレーター

#### <実験内容>

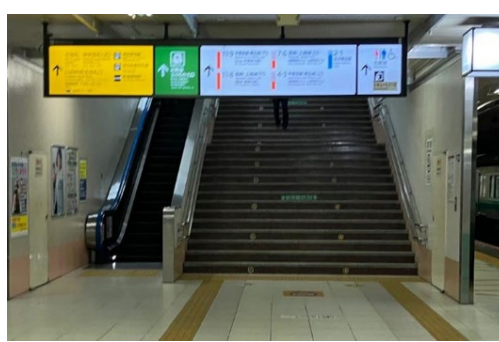
- ① AI技術による歩行者検知と音声による注意喚起
- ② AI技術による歩行者数の自動計測
- ③ サイン類・ポスターによるエスカレーター上での非歩行2列乗車に向けた啓蒙



設置する実験装置の構成イメージ



床サインイメージ



現地写真